

ニューノーマルに対応するにはトップダウン形式で
経営方針や会社のビジョンを表明すべき

株式会社 KIS

設 立：1970年

所 在 地：熊本市南区

事業内容：システム設計及び開発、ソフト開発支援等

従業員数：280名（男220名、女60名）

令和2年12月現在



テレワーク導入目的

4年前の熊本地震をきっかけにBCP(事業継続計画)対応、業務効率化、ワークライフバランスの両立、生産性向上など個人や組織力の強化を図る目的で2017年10月に在宅勤務制度を導入した。

テレワークの形態

<対 象 者> 2020年3月までは入社3年以上、育児・介護等対象者を限定していたが、2020年4月から全社員対象とした。

<作業場所> 自宅、コワーキングスペース

<頻 度> 2020年3月までは実施日数(10日/月)・

実施期間(1年毎の許可制)共に制限していたが、
2020年4月から無制限に変更した。

<形 態> 会社支給のノートパソコンと携帯電話を使用。



導入にあたっての課題や不安をどう克服したか

課題や不安

○2017年テレワーク希望のアンケートを実施したが、以下の理由により希望者はわずか3割だった。

- ・自宅では集中できない場合がある
- ・ネットワークの負荷が大きくなる場合がある

克服方法

- ・テレワークで勤務することに問題があれば出社することも可能にしている。
- ・顧客先や移動中に会社支給のノートパソコンや携帯電話でのリモートワーク、コワーキングスペースをサテライトオフィスとして利用できるようにし、外出先でも勤務できる環境整備を整えた。
- ・テレワーク(特に在宅勤務)の環境を整備するために費用支援対策を行い導入推進ができた。

実際にテレワークを行ってからの問題及びそれをどう克服したか

| 課題・不安及び手続きなど | 克服方法 |
|--------------------------|---|
| ○業務内容 | 各部署出社時と同じ。 |
| ○セキュリティ関係 | 毎年、年2回のセキュリティ試験を行い、合格するまで試験を行うことでセキュリティに対して常に意識の高い行動の継続を促している。 |
| ○リモートワーク時のルール | 深夜・休日は業務を行わない。 |
| ○申請方法・始業・終業時刻・時間外労働の把握方法 | 始業・終業・労働時間の把握、「在宅」「時間外」の申請はすべてwebシステムで行っている。 マイクロソフト Teams や Zoom を活用しチームごとにチャット、会議を行っている。 |

実施後のメリット

- ・通勤時間が無くなったことで時間にゆとりができ家族との時間が増え、育児と仕事の両立ができている。
- ・作業に集中しやすい。
- ・無駄な会議が減った。
- ・採用活動にweb面接を実施。社内だけでなく外部からの評価向上にも効果があった。
- ・コワーキングスペースは異業種間交流・共創の場としていい刺激となっている。

